

県本部第115回定期大会

日時：2024年10月11日(金) 13:00～
12日(土) 11:30
会場：いわき市「スパリゾート・ハワイアンズ」
議案：2025年度運動方針(案)、2025年度
一般会計・特別会計予算(案)ほか

自治労福島

自治労福島県本部機関紙

E-mail:syokichou@jichiro-fukushima.or.jp

第853号

2024年(令和6年)

8月31日

福島市荒町1-21
自治労福島県本部
発行人 澤村 英行

がんばろう福島

2024 人事院勧告

月例給は32年ぶりの高水準ベースアップ勧告 確定闘争で、 大幅賃上げを勝ち取ろう！

人事院は8月8日、本年の官民較差に基づき、月例給を11,183円(2.76%)、一時金を0.10月引き上げる勧告を行った。月例給で2%超の引き上げは、32年ぶりの高水準のベースアップ勧告となる。また、月例給・一時金ともに引き上げを勧告されるのは3年連続となる。

一方で、寒冷地手当の見直しや、「社会と公務の変化に応じた給与制度の整備」の中で触れられた扶養手当の見直しについては、不利益が生じるケースもあり、今後の確定闘争に向けては、課題も残した。

月例給・一時金とも引き上げとなった今勧告。月例給は、若年層に重点を置き、そこから改定率を減減させ、平均3.0%の引き上げ改定となった。全世代への配分を求めた公務員連絡会の要望を一定程度踏まえたものになっている。

今勧告では給与制度の見直しも触れられた。初任給等の引き上げ、係長・上席補佐等の俸給最低水準引き上げ、勤勉手当の成績率上限の引き上げ、本省課室長級の俸給体系見直し、地域手当の大きくくり化、新幹線通勤手当等の改善、再任用職員の手当拡大、管理職特別勤務手当の対象時間拡大、扶養手当の見直し等の内容が含まれる。特に、扶養手当は、配偶者に係る手当を段階的に廃止し、子に係る手当を段階的に増額する見直しで、不利益が生じるケースもある。

その他、寒冷地手当は支給額等の引き上げとともに、支給地域等を見直すもので、新たに非支給地となるケースもある。当面は、10月に予定される県人事委員会勧告が焦点となるが、県本部・県公務員共闘会議への組合員の引き続きの結集をお願いする。

■ 本年の給与改定 (勧告)

月例給 [本年4月分の民間給与を調査して官民比較] 【令和6年4月実施】

●官民較差：11,183円 (2.76%)

●採用市場での競争力向上のため、初任給を大幅に引上げ **給与制度のアップデートの先行実施**
【総合職(大卒)】230,000円(+14.6% [+29,300円]) 【一般職(大卒)】220,000円(+12.1% [+23,800円])
【一般職(高卒)】188,000円(+12.8% [+21,400円])

●若年層に特に重点を置きつつ、全ての職員を対象に全俸給表を引上げ改定

※おおむね30歳後半までの職員に重点を置いて改定
行政職俸給表(一)の平均改定率は、1級[係員] 11.1%、2級[主任等] 7.6%、全体3.0%

※官民較差はいわゆる「ベア」に相当。モデル試算した定期昇給分を加えると、月収で約4.4%の給与改善

ボーナス [直近1年間(昨年8月～本年7月)の民間の支給状況を調査して官民比較] 【令和6年4月実施】

●年間4.50月分→4.60月分 期末手当及び勤勉手当の支給月数をともに0.05月分引上げ

寒冷地手当 [手当額改定：令和6年4月実施、支給地域改定：令和7年4月実施]

●民間の同種手当の支給額を踏まえ、月額を11.3%引上げ。新たな気象データに基づき、支給地域を改定

■ 給与制度のアップデート (勧告) 【令和7年4月実施(初任給・若年層の水準引上げは、令和6年4月に先行実施)】

●現下の人事管理上の重点課題に対応し、俸給及び地域手当・通勤手当・ボーナス等の諸手当にわたり包括的に給与制度を整備

俸給 初任給・若年層の水準を大幅に引上げ
係長以上はより職責重視の体系とし、特に本府省課室長級は役割に見合う処遇に抜本的に見直し

地域手当 都道府県単位(中核的な市は個別指定)とし、級地を5段階に削減の上で最新民間賃金を反映(激変緩和を措置)
異動保障を3年間に延長

通勤手当等 支給限度額を月15万円に引上げ、この範囲内で特急料金も全額支給 新幹線通勤等の要件緩和

扶養手当 配偶者に係る手当を廃止、子に係る手当を増額

ボーナス 成績優秀者への勤勉手当の支給上限を引上げ(標準者の約3倍まで可能に) 任期付専門人材のボーナス拡充

その他手当 管理職員の平日深夜勤務に対する手当の対象時間帯拡大
再任用職員の手当拡大(住居手当、特地勤務手当、寒冷地手当等)

■ 国家公務員の育児休業法の改正 (意見の申出) 【民間労働法制の施行から遅れることなく実施】

●民間労働法制の内容も踏まえ、子の年齢に応じた柔軟な働き方を実現するための措置を拡充

・1年につき10日相当、1日の上限時間数なく育児時間を取得できるパターンを選択可能に
・非常勤職員の育児時間について、対象となる子の範囲を小学校就学前の子に拡大

※詳細は本部機関紙「じちろう」人勧特集号(8月15日号)をご覧ください。

自治労福島県本部推薦予定候補者 (小選挙区)



かねこ えみ
第1区：金子 恵美
立憲民主党・現③ 59歳



げんば こういちろう
第2区：玄葉光一郎
立憲民主党・現⑩ 60歳



おくま しんじ
第3区：小熊 慎司
立憲民主党・現④ 56歳

※第4区は連合福島の対応を待ち、今後、中央執行委員会で協議。

東北比例ブロック：「立憲民主党」

福島県・新選挙区

	第1区	第2区	第3区	第4区
新選挙区	福島市 二本松市 伊達市 本宮市 伊達郡 安達郡	郡山市 須賀川市 田村市 岩瀬郡 石川郡 田村郡	会津若松市 白河市 喜多方市 南会津郡 耶麻郡 河沼郡	大沼郡 西白河郡 東白川郡 いわき市 相馬市 南相馬市 双葉郡 相馬郡

県本部は8月21日開催の第13回中央執行委員会、第50回衆議院選挙に区・金子恵美予定候補者、第2区・玄葉光一郎予定候補者、第3区・小熊慎司予定候補者の推薦を決定した。なお、連合福島を座長に立憲民主、国民民主、社民の各政党県連、県議会党派県連で構成される五者協議会

している小選挙区第1区・金子恵美予定候補者、第2区・玄葉光一郎予定候補者、第3区・小熊慎司予定候補者の推薦を決定した。なお、連合福島を座長に立憲民主、国民民主、社民の各政党県連、県議会党派県連で構成される五者協議会

による候補者選考作業が継続中である第4区については、連合福島の対応を待ち、改めて、県本部としての対応を協議することとした。

併せて、東北比例ブロックについては、「立憲民主党」の推薦を決定した。

第50回衆議院選挙は、公職選挙法の改正により、福島県は5選挙区から4選挙区に選挙区が減り、新たな区割り選挙戦が行われる。

組合員には、区割り変更に関する注意を促すとともに、今回の県本部方針への理解をお願いする。

第50回衆議院選挙 第1区～3区の予定候補者の推薦を決定

2024夏、精力的な活動を展開!

東北地連スポーツ大会(野球・バレーボール)

野球

野球東北地連大会の本県代表は福島市職労。8月1日、山形県山形市・



野球で3位に輝いた福島市職労

上山市民球場で、花巻市職労との初戦に臨んだ。序盤からホームランが飛び出すなど、2回までに7点を奪う猛攻を見せた。しかし、終盤、追い上げられる展開に。最後は辛くも2点差の10対8で勝利した。続く山形市職労との準決勝は白熱の投手戦に。結果、守りのすきを見逃さなかつ

た山形市職労が勝利。福島市職労は0対2で敗れた。

バレーボール

福島市職労は、第3位で今年の東北地連大会を終えた。



バレーボールで準州賞を果たした福島市職労

バレーボールの本県代表も福島市職労。8月1日、山形県山形市・総合スポーツセンター体育館

で、初戦は山形市職労との対戦となった。結果、福島市職労が2対0のストレートで勝利した。準決勝は上越市職労との一戦。福島市職労がこれまで勝利したことのないチームである。厳しい展開もあったが、2対0のストレートで勝利を収めた。上越市職労から初勝利をあげ、勢いにのる福島市職労に立ちまわったのは高島町職労連。決勝戦は屈指の強豪との対戦になった。試合はフルセットまでもつれる展開に。結果は、福島市職労が1対2で惜敗したが、東北地連大会優勝へあと一歩まで迫る好勝負を演じた。福島市職労の来年の活躍が期待される。

自治研専門部会

第20年次自治研の活動がいよいよスタート。8月24日、専門部会第1回全体会が開催された。今回の会議は、震災・原発事故を風化させないとの思いを込め、双葉町・産業交流センターで開催したが、県内から32名が参加した。前段、闘争委員会・推進委員会合同会議が開催され、第20年次自治研の取り組みについて確認された。作業部会である専門部会は「地域創生」「自治体議会改革」「震災・原発事故」の3つのテーマ別に設けられ、県内各単組から計31名の登録があった。今後は部会毎に月1回程度、調査・研究のために活動し、その結果をレポートにまとめる。



専門部会第1回全体会の様子

成果発表の場となる第20回地方自治研究福島県集会は、2026年6月5日～6日に開催予定である。各専門部会の活発な活動を期待したい。

県本部労働学校

県本部労働学校は、7月19日～20日にかけて開催され、46名の若年層や女性組合員が参加した。プログラムは、労働組合や賃金、政治といった日常の運動に関するものから、自治労共済、労働金庫の活用などライフプランに



真剣な眼差しで受講する参加者

関するものまで幅広い内容の講演が主体。分散会では職場の課題についても話し合った。初日の夜は、交流会も催され、単組の垣根を越えた交流が見られた。県本部は、引き続き、学習の機会を設けていく。

～私の名刺⑪～

県北総支部事務局長
木村 圭介
(福島市職労)

この夏を乗りきるために…

県北総支部で事務局長の任に就いております、福島市職労出身の木村と申します。毎日暑い日が続いておりますが、皆さんは体調を崩したりしていないでしょうか?。年々暑さが厳しくなっているように感じることも多く、「今年は去年よりも暑いですね」なんて言葉を交わすこともあるかと思えます。それを裏付けるかのように、最近「熱中症警戒アラート」なるものが発表されるようになり耳にすることが増えてきました。令和6年4月から運用が開始されたようですが、福島県でもすでに何度も発表されております。

そんな中でも、体調を崩すことなく過ごしている私ですが、暑がりな汗っかきなため、この暑さには大変苦勞しています。通勤で外を歩くときは仕方ないですが、室内で少し動いただけでも汗をかいてしまいます。部屋の中だけでもどうにか涼しく過ごすことはできないかといういろいろ考えた結果、今さらですが部屋の空気を循環させることができると言われている「サーキュレーター」を導入してみました。効果は抜群で、今までは部屋の中で温度差ができていましたが、冷気が循環し部屋全体が涼くなりました。また、本来の使用法ではありませんが、直接風に当たることもできるのでお風呂上りなどに身体を冷ますことができます。結果として、エアコンの温度を上げて以前より快適に過ごすことができます。

暦の上では立秋を過ぎましたが、実際には名ばかりで今年もまだまだ暑さの厳しい日が続くことが予想されます。皆さんも体調には十分お気をつけてお過ごしください。

立憲民主党
参議院議員(自治労組織内議員)
岸まきこ

自治労の政策要求を
実現しよう!

声を力に、
とともに 一歩前へ



岸まきこ 公式サイト
kishimakiko.com/
岸まきこ 検索

自治労は、第27回参議院選挙の全国比例区に「岸まきこ」現参議院議員の擁立を決定しました。



岸まきこ (写真記号) プロフィール
1976年北海道岩見沢市(旧栗沢町)生まれ。94年旧栗沢町役場入職(現岩見沢市)。2013年から自治労中央執行委員。19年第25回参院選(全国比例区)で初当選、現職に至る。